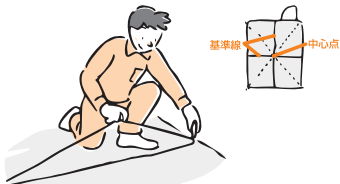


麻・ココヤシタイル床材



1 床面の中心点及び基準線の設定

床面の中心点を求め、基準線を線引き用墨などで引きます。

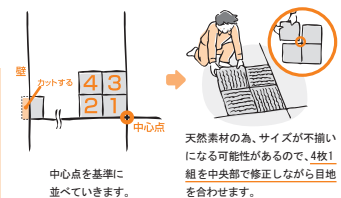


2 商品を現場に仮敷きして確認

商品を市松敷きで仮敷きし、必要に応じてカットします。



仮敷き確認時のポイント



3 必要に応じ商品をカットイング

カットは表面からカッターナイフ等で行います。



壁際のタイルのカット方法

- タイルを壁際に突きつけ、切り込み印をつけます。
- 切り込み印をカッターナイフ等でまっすくに切ります。

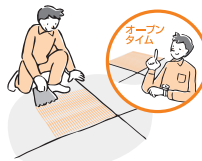
カットイング時のポイント



4 接着剤の塗布

基準線に沿って接着剤を専用コテ (約500g/m²) で床面に塗布し、オープンタイムを充分にとります。

(下地・気温によってオープンタイムが異なります。)



ほつれ止めについて

当社のタイルカーペットは四辺をほつれ止め加工 (シーミング加工) しています。カットした端部分はUSシーミング液をご利用ください。

US-99X 500ml入
(使用量目安1cm×1m長さで約25cc)



施工前にタイルが山型 (Λ) にソリが出ている場合
梅雨時期などの多湿時には、まれにわずかな山型のソリが発生する場合があります。手でクセを直し、平面にすれば施工しやすくなります。



5 商品の敷きつめ

仮敷きした順序で、基準線に沿ってタイルを一枚ずつ強めに突き合わせながら敷きつめていきます。



施工前にタイルが谷型 (V) にソリが出ている場合

乾燥時期などには、まれにわずかな谷型のソリが発生する場合があります。手でクセを直し、平面にすれば施工しやすくなります。



6 施工後の圧着・養生

施工後は必ずローラー (30kg~40kg) で圧着し完全接着させてください。



塗布量が少ない時や、ローラー圧着が少ないと、ふくれや浮き上がりが生じる恐れがありますので、必ず手順に従って施工してください。

ご注意していただきたいこと

施工時の段差・不陸について

下地に段差や不陸があると、タイル敷き込み中に目違いを起し、きれいに施工できません。その場合、下地を補修するなどの処置をしてから施工を行ってください。

表面の凹凸について

通常の繊維製カーペットに比べると表面は固く凹凸しています。特に小さなお子様のいるご家庭では、転倒するとかガをずらす場合がありますのでご注意ください。

